

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット

市民の気候変動を意識した行動変容を促すための効果的な対象の選定とエンパワーメント・プログラムの開発

イベント参加者の満足度	90%
活動に対する問合せ件数	85件
活動の全体目標に対する達成度	80%



7月 食育インストラクターリーダー研修会

◆成果と工夫したポイント

●成果

イベント参加者のべ人数が1,000名弱と、活動を広げることができた。(リーダー研修会参加者33名が各地で実施したプログラムへの参加者800名、家庭科教諭研修60名、最終事業報告会兼シンポジウム60名)。

●工夫

指導者層へのごまめな情報提供と、プログラム実施時のフォローを行った。

課題

家庭からのCO₂排出量は、1990年に比べて2013年度比で約1.5倍増加しており、家庭部門からのCO₂排出削減が大きな課題である。

目標

生活者が関心のある分野の専門家と連携して、その分野を通じて気候変動について伝え、「我がごと化」することが有効と考え、各専門分野の指導者層への働きかけを推進、多くの生活者が気候変動を意識した行動を実践。

活動内容

A) 連携の強化：昨年度連携した日本食育インストラクター協会及び日本家庭園芸普及協会と協働して、全国各地でプログラムを活用する団体を発掘し、それらの団体との連携を強化。B) 関連団体等への情報提供：全国の地域地球温暖化防止活動センターへプログラムに関して、また、家庭科担当教諭を対象として情報提供。最終的に3年間の成果共有のため、飲食、ガーデニング、気候変動の関係者を対象に報告会開催。

達成できなかったこと

各地方でのプログラム展開にあたり、気候変動問題も、各地で特色を反映したプログラムを作成したかったが、個別の開発までは至らず、各地で個人の展開に委ねることになった。

今後の展望

自身の関心分野と地球温暖化の関係を理解いただくため、多分野の取組みに関心・繋がりをもち、啓発活動を広げたい。



3月 シンポジウム トークセッション